○大正十三年七月八日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　侯爵　細川護立
副委員長　山脇玄

會議

第一回　大正十三年七月八日

出席委員

委員長　侯爵　細川護立　委員　伯爵　堀田正恒
同　子爵　稲垣太祥　同　神野勝之助
同　木内重四郎　同　片岡直輝

出席政府委員

大藏省主計局長　田昌
大藏書記官　川越文雄
國有財産整理局長　太田嘉太郎

○委員長侯爵細川護立　開會ヲ宣告ス

（參照）

第一條　大正十年度乃至大正十二年度ノ歳入歳出ノ決算ノ特例ニ關スル法律案

大正十年度乃至同十二年度ノ歳入歳出ノ決算ニシテ大正十二年九月ノ震災ニ因リ成規ノ樣式ニ依ルコト能ハサルモノニ付テハ特別ノ樣式ニ依ルコトヲ得

第二條　大正十一年度及同十二年度ノ歳入歳出ノ決算ハ各翌翌年開會ノ常會ニ於テ帝國議會ニ之ヲ提出スルコトヲ得

第三條　大正十二年度所屬ノ歳入歳出ニ付テハ大正十三年九月三十日迄之カ出納ニ關スル事務ノ完結ヲ延期スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長侯爵細川護立　散會ヲ命ス

散會　午前九時四十五分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

○大正十年度乃至大正十二年度ノ歳入歳出ノ決算ノ特例ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

侯爵　細川護立

委員長　侯爵　細川護立　印

副委員長　山脇玄　印

鑛業法中改正法律案特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月九日議長ノ指名ヲ以テ鑛業法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

侯爵　久我常通
伯爵　勸修寺經雄
子爵　板倉勝憲
男爵　横山隆俊
男爵　伊藤文吉
岡田文次
馬越恭平
齋藤善八
藤本閑作

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

會議

第一回　大正十三年七月十日

出席委員

委員長　伯爵　勸修寺經雄　副委員長男爵　伊藤文吉

委員　男爵　横山隆俊　同　岡田文次

同　馬越恭平　同　齋藤善八

同　藤本閑作

出席政府委員

社會局長官　池田常宏

鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第八十條　鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鑛夫カ業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（附記）　本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長伯爵勸修寺經雄　散會ヲ命ス

散會　午後一時五十六分

（附記）　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

鑛業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長　伯爵　勸修寺經雄

委員長　伯爵　勸修寺經雄　印

副委員長　男爵　伊藤文吉　印

大學特別會計法中改正法律案、大正八年法律第十二號中改正法律案、古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案、高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案特別委員會

大學特別會計法中改正法律案特別委員會

大正八年法律第十二號中改正法律案特別委員會

古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案特別委員會

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案特別委員會

（附記）　右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月九日議長ノ指名ヲ以テ大學特別會計法中改正法律案、大正八年法律第十二號中改正法律案、古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵　松木宗隆

子爵　大河內輝耕

荒井賢太郎

男爵　千秋季隆

男爵　福原俊丸

澤柳政太郎

（附記）　高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案ハ大正十三年七月十三日連繫事件トシテ其ノ審査ヲ大學特別會計法中改正法律案、大正八年法律第十二號中改正法律案、古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案特別委員ニ付託セラル

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　伯爵　松木宗隆
副委員長　澤柳政太郎

會議

第一回　大正十三年七月七日

出席委員

委員長　伯爵　松木宗隆　副委員長　澤柳政太郎
阪本彭之助
鎌田勝太郎
高橋隆一
荒井賢太郎　同　男爵　千秋季隆
同　男爵　福原俊丸　同　阪本彭之助
同　高橋隆一

出席國務大臣

文部大臣　岡田良平

出席政府委員

文部省專門學務局長　粟屋謙
文部省宗教局長　下村壽一

開會　午後一時十五分

○委員長伯爵松木宗隆　開會ヲ宣告ス

（參照）

大學特別會計法中改正法律案

大學特別會計法中左ノ通改正ス

第二條第一項中「二百八十八萬四千八百三十七圓」ヲ「二百九十八萬三千三十七圓」ニ「百七十

萬五千九百六十一圓」ヲ「百八十萬五千九百六十一圓」ニ改ム

大正八年法律第十二號中改正法律案

大正八年法律第十二號中左ノ通改正ス

第一項中「三百九十一萬三千百圓」ヲ「四百一萬三千百圓」ニ改ム

古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案

大正十二年九月ノ震災ニ因リ倒壞又ハ破損シタル特別保護建造物及國寶ノ維持修理ニ要スル經費ヲ補助スル爲政府ハ大正十三年度ニ於テ古社寺保存法第十六條ノ金額ノ外十四萬圓ヲ限リ古社寺保存金トシテ臨時支出スルコトヲ得

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案

大正十二年九月ノ震災ニ基ク復舊諸費ニシテ東京帝國大學、東京商科大學及千葉醫科大學ニ關スルモノハ大學特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラス之ヲ一般會計ノ所屬トス

東京帝國大學特別會計ノ資金中東京帝國大學農學部及航空研究所ノ用ニ供スル土地及建造物竝學校及圖書館特別會計ノ資金中東京女子高等師範學校及東京高等蠶絲學校ノ用ニ供スル土地及建造物ニシテ此等諸學校ノ震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ノ結果不用ニ歸スヘキモノハ當該資金ヨリ之ヲ拂出スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長伯爵松木宗隆　散會ヲ命ス

散會　午後二時四分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

大學特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月七日

右特別委員長

伯爵　松　木　宗　隆

貴族院議長公爵德川家達殿

大正八年法律第十二號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月七日

右特別委員長

伯爵　松木宗隆

貴族院議長公爵德川家達殿

古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月七日

右特別委員長

伯爵　松木宗隆

貴族院議長公爵德川家達殿

第二回　大正十三年七月十四日

出席委員

副委員長　澤柳政太郎　委員　子爵　大河內輝耕　同　男爵　千秋季隆　同　阪本釤之助　同　鎌田勝太郎　同　高橋隆一

出席國務大臣

文部大臣　岡田良平

出席政府委員

文部次官　松浦鎮次郎

文部省專門學務局長　栗屋謙

文部書記官　窪田治輔

開會　午前九時十九分

○副委員長澤柳政太郎開會ヲ宣告ス

○副委員長澤柳政太郎　散會ヲ命ス

散會　午前九時五十一分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ報告候也

大正十三年七月十四日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員副委員長

委員長　伯爵　松木宗隆印

副委員長　澤柳政太郎印

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案特別委員會

震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案特別委員會

大正十三年勅令第二十一號(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

(附記)右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月十日議長ノ指名ヲ以テ震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案、震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案、大正十三年勅令第二十一號(承諾ヲ求ムル件)特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵　柳澤保惠

子爵　青木信光

淺田徳則

渡邊廉吉

男爵　黑田長和

男爵　矢吹省三

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十一日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　淺田德則
副委員長男爵　黑田長和

會議

第一回　大正十三年七月十一日

出席委員

委員長　淺田德則　副委員長男爵　黑田長和
委員　子爵　青木信光　同　渡邊廉吉
同　男爵　矢吹省三　同　西野元
同　田中清文　西久保弘道
西野元
田中清文

出席政府委員

內務省地方局長　潮惠之輔
大藏省主稅局長　黑田英雄

開會　午前十時十八分

○委員長淺田德則　開會ヲ宣告ス

（參照）

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案

第一條　大正十二年九月一日ノ震災（之ニ伴フ火災又ハ海嘯ヲ含ム）ニ因リ著シク利用ヲ妨ケラレタル土地ニシテ地租條例第二十條ノ規定ノ適用ナキモノニ付テハ其ノ實況ニ應シ命令ノ定ムル所ニ依リ大正十二年ヨリ五年以內其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得但シ大正十二年宅地租第一期分ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　政府ハ大正十二年勅令第四百十號第二條ノ震災地ニ於テ大正十三年九月一日以後ニ納付スヘキ左ノ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　地租

二　第一種所得稅

三　相續稅

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案

大正十二年九月ノ震災ニ因リ免除セラルル地租ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ免除セラレサルモノト看做ス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年勅令第二十一號

勅令第二十一號

第一條　營業稅ノ課稅標準ヲ前年ノ實蹟ニ依リ計算スヘキ場合ニ於テ大正十二年九月一日ノ震災(之ニ伴フ火災又ハ海嘯ヲ含ム)ニ因リ營業ノ狀況激變シ課稅標準中著シク減損スヘシト認メラルルモノアルトキハ大正十三年分營業稅ニ限リ豫算ヲ以テ其ノ課稅標準ヲ算定ス

前項ニ該當スル營業者ハ速ニ當該課稅標準ノ豫算ヲ政府ニ申告スヘシ

第二條　政府ハ大正十二年勅令第四百十號第二條ノ震災地ニ於テ大正十三年四月一日ヨリ同年八月三十一日迄ニ納付スヘキ左ノ租稅ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

一　地租

二　第一種所得稅

三　相續稅

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(附記)　本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長淺田德則　散會ヲ命ス

散會　午前十一時十四分

(附記)　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十一日

右特別委員長

淺田徳則

貴族院議長公爵德川家達殿

震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納税資格要件ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十一日

右特別委員長

淺田徳則

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十三年勅令第二十一號（承諾ヲ求ムル件）

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十一日

右特別委員長

淺田徳則

貴族院議長公爵德川家達殿

委員長　淺田徳則印

副委員長　男爵　黒田長和印

委員選擧

○大正十三年七月十日議長ノ指名ヲ以テ砂防法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵　松浦　厚
子爵　西大路吉光
子爵　竹屋　春光
平井晴二郎
荒川義太郎
男爵　南岩倉具威
男爵　辻　太郎
中村純九郎
小林八右衞門

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十一日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

會議

第一回　大正十三年七月十一日

出席委員

委員長　伯爵　松浦　厚　　委員長　伯爵　松浦　厚

同　荒川義太郎　　同　子爵　竹屋春光

同　男爵　辻　太郎　　同　男爵　南岩倉具威

出席政府委員　　同　小林八右衛門

内務省土木局長　長岡隆一郎

内務技監　市瀬恭次郎

開會　午前十時十五分

○委員長伯爵松浦厚　開會ヲ宣告ス

（參照）

砂防法中改正法律案

砂防法中左ノ通改正ス

第六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

砂防設備ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ナルトキ、其ノ利害關係一府縣ニ止マラサルトキ、其ノ工事至難ナルトキ又ハ其ノ工費至大ナルトキハ主務大臣ハ之ヲ管理シ、其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ維持ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）　本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長伯爵松浦厚　散會ヲ命ス

散會　午前十一時二分

（附記）　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

砂防法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十一日

貴族院議長公爵德川家達殿

委員長　伯爵　松浦　厚印

副委員長　平井晴二郎印

右特別委員長

伯爵　松浦　厚

震災善後公債法中改正法律案特別委員會

大正十三年勅令第四十六號（承諾ヲ求ムル件）特別委員會

（附記）右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月十日議長ノ指名ヲ以テ震災善後公債法中改正法律案、大正十三年勅令第四十六號（承諾ヲ求ムル件）特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

子爵　本多忠鋒

子爵　八條隆正

中村是公

男爵　郷誠之助

男爵　小畑大太郎

山之内一次

永田秀次郎

大谷嘉兵衛

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十一日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　子爵　八條隆正
副委員長　山之內一次

會議

第一回　大正十三年七月十一日

出席委員

委員長　子爵　八條隆正　副委員長　山之內一次
委員　子爵　本多忠鋒　同　中村是公
同　男爵　小畑大太郎　同　永田秀次郎

出席政府委員

大藏省理財局長　富田勇太郎
大藏書記官　青木得三
大藏書記官　横山章

開會　午前十時八分

○委員長子爵八條隆正　開會ヲ宣告ス

（參照）

震災善後公債法中改正法律案

震災善後公債法中左ノ通改正ス

第一條中「震災ニ伴フ復興事業ニ關スル經費支辨ノ爲」ヲ「震災ニ伴フ復興事業其ノ他震災善後ノ爲ニ要スル經費支辨ノ爲」ニ、「四億六千八百五十萬圓」ヲ「十億七千三百萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十三年勅令第四十六號

勅令第四十六號

震災善後ニ關シ必要ナル經費支辨ノ爲政府ハ二千四百二十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補塡スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ

公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長子爵八條隆正散會ヲ命ス

散會　午前十時四十四分

第二回　大正十三年七月十六日

出席委員

委員長　子爵　八條隆正　副委員長　山之內一次

委員　子爵　本多忠鋒　同　中村是公

同　男爵　小畑大太郎　同　永田秀次郎

同　横山章

出席政府委員

大藏次官　小野義一

大藏省理財局長　富田勇太郎

大藏書記官　河田烈

大藏書記官　青木得三

開會　午前十一時二十六分

○委員長子爵八條隆正　開會ヲ宣告ス

○委員長子爵八條隆正　散會ヲ命ス

散會　午前十一時四十四分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

震災善後公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十六日

右特別委員長

子爵　八條隆正

大正十三年七月十六日

大正十貴族院議長公爵德川家達殿

大正十三年勅令第四十六號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長　子爵　八條隆正

委員長　子爵　八條隆正　印

副委員長　山之内一次　印

小作調停法案特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月十日議長ノ指名ヲ以テ小作調停法案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

子爵　伊東祐弘
大久保利武
道家齊
富谷鉎太郎
玉利喜造
和田彦次郎
石塚英藏
上山滿之進
鈴木喜三郎
男爵　松岡均平
男爵　安川敬一郎

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十一日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　子爵　伊東祐弘

副委員長　和田彦次郎

會議

第一回　大正十三年七月十一日

出席委員

委員長　子爵　伊東祐弘　副委員長　和田彦次郎

同　大久保利武　同　富谷鉎太郎

同　玉利喜藏　同　石塚英藏

同　松本烝治　同　志村源太郎

同　伊澤多喜男　同　山田齋之助

同　上山滿之進　同　鈴木喜三郎

同　男爵　松岡均平　同　男爵　安川敬一郎

同　松本烝治　同　志村源太郎

同　山田齋之助

出席國務大臣

司法大臣　横田千之助

出席政府委員

司法省民事局長　池田寅二郎

農商務次官　三土忠造

農商務省農務局長　滿欽司

農商務書記官　石黑忠篤

開會　午前十時十五分

○委員長子爵伊東祐弘　開會ヲ宣告ス

（參照）

小作調停法案

小作調停法

第一條　小作料其ノ他小作關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

當事者ハ合意ヲ以テ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二條　當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三條　調停ノ申立ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長又ハ郡長ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

第四條　前條ノ規定ニ依ル調停ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滯ナク申立ニ關スル書類ヲ裁判所ニ送付シ且町村長ニ在リテハ郡長ニ郡長ニ在リテハ町村長ニ申立アリタル旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

爭議ノ目的タル土地カ數郡市町村ニ亘ル場合ニ於テハ調停ノ申立ヲ受ケタル市町村長又ハ郡

長ハ遲滯ナク關係市町村長及郡長ニ前項ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　裁判所直接ニ調停ノ申立ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス但シ第八條第一項ノ規定ニ依リ事件ヲ移送スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　調停ノ申立ハ爭議ノ實情ヲ明ニシテ之ヲ爲スヘシ

第七條　調停ノ申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

口頭ヲ以テ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ市町村長、郡長又ハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第八條　爭議ノ目的タル土地カ數箇ノ裁判所ノ管轄區域內ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受ケタル地方裁判所又ハ區裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所又ハ管轄區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所カ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一項ノ場合ニ於テ事件ノ移送ヲ受ケタル裁判所ハ遲滯ナク爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ其ノ旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第九條　調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

第十條　裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス但シ爭議ノ實情ニ鑑ミ之ヲ開カスシテ調停ヲ爲スコトヲ得

當事者ノ申立アルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス裁判所ハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第十一條　裁判所事情ニ依リ適當ナル者アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス之ヲシテ勸解ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　當事者多數ナル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ代表シテ調停ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲總代ヲ選任スルコトヲ得

裁判所前項ノ規定ニ依ル總代ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ總代ノ選任ヲ命スルコトヲ得

總代ハ當事者中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ要ス

第十三條　總代ノ選任ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

總代ノ解任ハ之ヲ裁判所ニ届出ツルニ非サレハ其ノ效ナシ

第十四條　裁判所ハ期日ヲ定メ當事者又ハ總代ヲ呼出スコトヲ要ス

前項ノ呼出ヲ受ケタル當事者又ハ總代ハ正當ノ事由ナクシテ出頭ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條　調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ調停ニ參加スルコトヲ得

裁判所ハ調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

第十六條　當事者、總代及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條　爭議ノ目的タル土地ノ所在地又ハ當事者ノ住所地ノ市町村長又ハ郡長ハ裁判所ニ對シ事件ノ經過ニ付陳述ヲ爲スコトヲ得

第十八條　裁判所必要アリト認ムルトキハ小作官、前條ノ市町村長又ハ郡長其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求ムルコトヲ得

第十九條　小作官ハ期日ニ出席シテ又ハ期日外ニ於テ裁判所ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第二十條　裁判所必要アリト認ムルトキハ事實ノ調査ヲ小作官ニ囑託スルコトヲ得

第二十一條　裁判所ニ於ケル調停手續ハ之ヲ公開セス但シ裁判所ハ相當ト認ムル者ノ傍聽ヲ許

スコトヲ得

第二十二條　裁判所ハ費用ヲ要スル行爲ニ付當事者ノ一方又ハ双方ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第二十三條　裁判所ニ對スル申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

口頭ヲ以テ申述ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第二十四條　裁判所ノ調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第二十五條　裁判所ハ調停前調停ノ爲必要ト認ムル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　裁判所ノ調停條項中ニ費用ノ負擔ニ關スル定ヲ爲サザルトキハ各當事者ハ其ノ支出シタル費用ヲ自ラ負擔ス

第二十七條　調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第二十八條　調停委員會ハ調停主任一人及調停委員二人以上ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條　調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁判所長之ヲ指定ス

調停委員ハ調停ニ適當ナル者ニ就キ地方裁判所長ノ選任シタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス但シ當事者カ合意ヲ以テ選定シタル者アルトキ又ハ地方裁判所長ノ選任シタル

者ニ就キ當事者双方カ各別ニ選定シタル者アルトキハ其ノ者ノ中ヨリ先ツ之ヲ指定スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十條　調停主任ハ爭議ノ實情ニ鑑ミ適當ト認ムル場所ニ於テ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第三十一條　調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任之ヲ指揮ス

第三十二條　調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半數ノ意見ニ依ル可否同數ナルトキハ調停主任ノ決スル所ニ依ル

第三十三條　調停委員會ノ評議ハ之ヲ祕密トス

第三十四條　第十一條乃至第二十六條ノ規定ハ調停委員會ノ調停手續ニ之ヲ準用ス

第三十五條　調停委員會ハ當事者總代又ハ利害關係人ノ陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ得

調停委員會ハ調停主任ヲシテ證據調ヲ爲サシメ又ハ之ヲ區裁判所ニ囑託スルコトヲ得

證據調ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス

證人及鑑定人ノ受クヘキ旅費日當及止宿料ニ付テハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

第三十六條　期日ニ於テ調停成ラサルトキハ調停委員會ハ適當ト認ムル調停條項ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ調停條項ヲ定メタル場合ニ於テハ調停委員會ハ其ノ調書ノ正本ヲ當事者、總代アルトキハ總代ニ送付シ且當事者又ハ總代カ其ノ送付ヲ受ケタル後一月內ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

當事者又ハ總代カ前項ノ正本ノ送付ヲ受ケタル後一月內ニ調停委員會ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス

調停委員會ハ申立ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得期間ノ伸長ハ之ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス

當事者又ハ總代カ調停條項ニ對シ異議ヲ述ヘタルトキハ調停委員會ハ其ノ旨ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス

第三十七條　調停委員會第二條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得

第三十八條　調停成リタルトキ又ハ第三十六條第三項ノ規定ニ依リ調停ニ同意シタルモノト看

做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

調停不認可ノ決定ニ對シテハ當事者又ハ總代ハ民事訴訟法ニ從ヒ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　裁判所ハ調停カ著シク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ調停不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條　調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ調停ハ認可決定アリタルトキニ限リ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第四十一條　裁判所調停認可ノ決定ヲ總代ニ告知シタル場合ニ於テハ調停條項ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示スルコトヲ要ス

第四十二條　調停委員會必要アリト認ムルトキハ調停ノ經過ヲ公表スルコトヲ得

第四十三條　調停事件終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ結果ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス

第四十四條　當事者又ハ利害關係人ハ手數料ヲ納付シテ記錄ノ閱覽若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ付與ヲ裁判所書記ニ求ムルコトヲ得但シ當事者カ事件ノ

繫屬中記錄ノ閲覽又ハ謄寫ヲ爲ス場合ニ於テハ手數料ヲ納付スルコトヲ要セス

第四十五條　調停委員及第十一條又ハ第三十四條ノ規定ニ依リ勸解ヲ爲シタル者ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス

第四十六條　第四十四條ノ手數料竝前條ノ旅費、日當及止宿料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十七條　本法中郡トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳管轄區域、郡長トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司トス

本法中町村、町村長又ハ町村役場トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村、町村長又ハ町村役場ニ準スルモノトス

第四十八條　第三十四條ノ規定ニ依ル呼出ヲ受ケタル者正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五拾圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第四十九條　調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ顚末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長子爵伊東祐弘　散會ヲ命ス

散會　午前十一時五十三分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

小作調停法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十一日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長　子爵　伊東祐弘

委員長　子爵　伊東祐弘　印

副委員長　和田彦次郎　印

大正九年法律第五十六號中改正法律案特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ大正九年法律第五十六號中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵　酒井忠正
子爵　新庄直知
子爵　蒔田廣城
男爵　山根武亮
平井晴二郎
笠井信一
男爵　藤堂高成
谷森眞男
矢口長右衛門

委員長及副委員長選擧

○委員長ニ酒井忠正　副委員長ニ矢口長右衛門ヲ命ス

○大正十三年七月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　伯爵　酒井忠正
副委員長　男爵　山根武亮

會議

第一回　大正十三年七月十四日

出席委員

委員長　伯爵　酒井忠正　副委員長男爵　山根武亮
委員　子爵　新庄直知　同　子爵　蒔田廣城
同　平井晴二郎　同　笠井信一
同　男爵　藤堂高成　同　谷森眞男
同　矢口長右衛門

出席政府委員

内務省地方局長　潮惠之輔
北海道廳長官　土岐嘉平
北海道廳土木部長　古宇田晶
鐵道省監督局長　筧正太郎

開會　午前九時三十九分

○委員長伯爵酒井忠正開會ヲ宣告ス

（參照）

大正九年法律第五十六號中改正法律案

大正九年法律第五十六號中左ノ通改正ス

「五年」ヲ「十年」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ從前ノ規定ニ依リ補助ヲ爲シタル地方鐵道ニシテ本法施行前補助期間滿了シタルモノニ付テハ其ノ滿了ノ日ノ翌日ヨリ之ヲ適用ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長伯爵酒井忠正　散會ヲ命ス

散會　午前十時二十五分

第二回　大正十三年七月十五日

出席委員

委員長　伯爵　酒井忠正　副委員長男爵　山根武亮

委員　子爵　新庄直知　同　子爵　蒔田廣城

同　笠井信一　同　男爵　藤堂高成

同　谷森眞男　同　矢口長右衛門

出席政府委員

北海道廳長官　土岐嘉平

北海道廳土木部長　古宇田晶

國有財産整理局長　太田嘉太郎

開會　午前十時十八分

○委員長伯爵酒井忠正　開會ヲ宣告ス

○委員長伯爵酒井忠正　散會ヲ命ス

散會　午前十時五十二分

（附記）　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

大正九年法律第五十六號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

伯爵　酒井忠正

委員長　伯爵　酒井忠正　印

副委員長　男爵　山根武亮　印

貴族院議長公爵德川家達殿

國籍法中改正法律案特別委員會

戸籍法中改正法律案特別委員會

（附記）右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ國籍法中改正法律案、戸籍法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

侯爵　德川義親
伯爵　松平賴壽
子爵　井上匡四郎
大島健一
河村善益
水上長次郎
男爵　大烏富士太郎
鍋島桂次郎

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　男爵　大鳥富士太郎
副委員長　鍋島桂次郎

會議

第一回　大正十三年七月十四日

出席委員

委員長　男爵　大鳥富士太郎　副委員長　鍋島桂次郎
委員　侯爵　德川義親　同　河村善益
同　竹村與右衛門

出席政府委員

外務書記官　赤松祐之
大使館參事官　佐分利貞男
內務次官　湯淺倉平
內務書記官　赤木朝治
陸軍次官　津野一輔
司法省參事官　三宅正太郎

開會　午前九時三十四分

○委員長男爵大鳥富士太郎　開會ヲ宣告ス

（參照）

國籍法中改正法律案

國籍法中左ノ通改正ス

第二十條ノ二　勅令ヲ以テ指定スル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保スルノ意思ヲ表示スルニ非サレハ其出生ノ時ニ遡リテ日本ノ國籍ヲ失フ

前項ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保シタル者又ハ前項ノ規定ニ依ル指定前其指定セラレタル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人當該外國ノ國籍ヲ有シ且其國

ニ住所ヲ有スルトキハ其志望ニ依リ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十條ノ三　前條第一項ノ外國以外ノ外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人カ其國ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十四條中「前六條」ヲ「第十九條、第二十條及前三條」ニ、「前七條」ヲ「前八條」ニ改ム

第二十六條中「第二十條、第二十條ノ二又ハ第二十一條」ヲ「第二十條乃至第二十一條」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第二十七條ノ二　國籍ノ離脱及回復ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

戸籍法中改正法律案

戸籍法中左ノ通改正ス

第百五十一條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國籍法第二十條二又ハ第二十條ノ規定ニ依ル國籍喪失者ニ付テハ此限ニ在ラス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長男爵大鳥富士太郎　散會ヲ命ス

散會　午前十時二十四分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

國籍法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

男爵　大鳥富士太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

戸籍法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

男爵　大鳥富士太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

委員長　男爵　大鳥富士太郎　印

副委員長　鍋島桂次郎　印

朝鮮銀行法中改正法律案特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ朝鮮銀行法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

侯爵　細川護立

子爵　松平直平

子爵　渡邊千冬

男爵　岡野敬次郎

男爵　平野長祥

男爵　高崎弓彦

三宅秀

仁尾惟茂

二階堂三郎左衛門

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　仁尾惟茂
副委員長　男爵　高崎弓彦

會議

第一回　大正十三年七月十四日

出席委員

委員長　仁尾惟茂　副委員長男爵　高崎弓彦
委員　侯爵　細川護立　同　岡野敬次郎
同　三宅秀

出席政府委員

朝鮮總督府財務局長　和田一郎
關東長官　伯爵　兒玉秀雄
關東廳事務官　西山左內
大藏省銀行局長　松本脩

開會　午前九時四十一分

○委員長仁尾惟茂　開會ヲ宣告ス

（參照）

朝鮮銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中左ノ通改正ス

第二條、第九條、第十條、第十七條、第十八條、第二十條乃至第二十二條、第二十五條及第二十九條乃至第三十三條中「朝鮮總督」ヲ「大藏大臣」ニ改ム

第三十四條中「朝鮮總督」ヲ「政府」ニ改ム

第三十七條ノ二　本法中大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

大藏書記官　岡田信

○委員長仁尾惟茂　散會ヲ命ス

散會　午前十時十八分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

朝鮮銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

委員長　仁尾惟茂印

副委員長　男爵　高崎弓彦印

貴族院議長公爵德川家達殿

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案特別委員會

復興貯蓄債券法案特別委員會

（附記）右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案、復興貯蓄債券法案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

子爵　前田利定

武富時敏

男爵　阪谷芳郎

神野勝之助

男爵　池田長康

藤田四郎

高田早苗

花井卓一藏

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　子爵　前田利定
副委員長　男爵　阪谷芳郎

會議

第一回　大正十三年七月十四日

出席委員

委員長　子爵　前田利定　副委員長　男爵　阪谷芳郎
委員　神野勝之助　同　男爵　池田長康
同　藤田四郎　同　高田早苗
同　花井卓藏

出席國務大臣

大藏大臣　濱口雄幸　安田善三郎

出席政府委員

大藏省理財局長　富田勇太郎
大藏省參事官　荒井誠一郎
大藏書記官　青木得三
大藏書記官　津島壽一
國有財産整理局長　太田文嘉太郎
司法次官　林賴三郎
司法省民事局長　池田寅二郎
司法省參事官　長島毅
司法書記官　近藤三郎

開會　午前九時三十六分

○委員長子爵前田利定　開會ヲ宣告ス

（參照）

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案

第一條　大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失又ハ紛失シタル無記名國債證券ニ對シテハ本法ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第二條　震災ノ當時前條ノ證券ヲ所有シ又ハ占有シタル者ハ本法施行後三月內ニ限リ喪失國債證券審査會ニ其ノ所有シ又ハ占有シタル證券ノ滅失又ハ紛失ニ付査定ヲ求ムルコトヲ得但シ證券ノ名稱不明ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本法施行ノ際外國ニ居住スル者ニ付テハ前項ノ期間ハ之ヲ六月トス

第三條　證券滅失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ滅失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

證券紛失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リテ生スルコトアルヘキ損失ヲ塡補スル爲確實ナル擔保ヲ提供セシメ又ハ保證人ヲ立テシメ紛失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ擔保及保證人ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一項及第二項ノ場合ニ於テ證券ノ記號不明ナルモノニ付テハ同一名稱ノ證券中適宜ノ記號ノモノヲ交付スルコトヲ得

第四條　前條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ滅失又ハ紛失シタル證券ノ償還期到來シタルトキハ政府ハ新證券ノ交付ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ爲ス

第五條　紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ記號又ハ番號不明ナル場合ニ於テ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リ政府ニ損失ヲ生シタルトキハ同一名稱ノ新證券ノ交付ヲ受ケ又ハ之ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ受ケタル者ニシテ記號又ハ番號不明ナル舊證券ニ付紛失ノ査定ヲ受ケタルモノ新證券ノ額面金額又ハ元金額ニ按分シテ其ノ損失ヲ負擔ス

第六條　滅失又ハ紛失シタル同一證券ニ付第二條ノ規定ニ依ル査定ノ請求二以上アリタル場合ニ於テハ新證券ノ交付ハ請求者中震災ノ當時舊證券ヲ占有スヘキ權利アリタル者ニ之ヲ爲ス

滅失又ハ紛失シタル證券ニ付存シタル權利ハ新證券ニ付亦之ヲ行フコトヲ得

前二項ノ規定ハ第四條ノ元利金ニ付之ヲ準用ス

第七條　喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

第八條　喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受クル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九條　喪失國債證券審査會ハ第七條及前條第一項ノ規定ニ依ル證據調ヲ裁判所其ノ他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第十條　喪失國債證券審査會ノ組織及證據調其ノ他審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　第一條ノ證券ニシテ震災ノ當時政府ノ保管シタルモノニ付テハ第二條乃至前條ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

復興蓄貯債券法案

復興貯蓄債券法

第一條　政府ハ日本勸業銀行ヲシテ復興貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得

第二條　復興貯蓄債券ハ無記名トシテ券面金額五圓又ハ十圓トス

第三條　復興貯蓄債券ハ割引又ハ利子据置ノ方法ニ依リ之ヲ賣出スモノトス

割引金額及利子歩合ハ主務大臣之ヲ定ム

第四條　復興貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十年以内ニ毎年二回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スヘシ

復興貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割增金ヲ附與スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ定ム

第五條　復興貯蓄債券ニハ商法第百九十九條乃至第二百條ノ二ノ規定ヲ適用セス

第六條　復興貯蓄債券ニハ印紙稅ヲ復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル社債ノ登記ニハ登錄稅ヲ、復興貯蓄債券ノ利子ニハ所得稅ヲ課セス

第七條　日本勸業銀行ハ復興貯蓄債券ノ發行ニ依ル收入金ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

前項ノ預入ニ依ル資金ハ震災地ノ復興及地方產業ノ振興ノ爲必要ナル用途ニ之ヲ融通ス

第八條　復興貯蓄債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第九條　復興貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十條及第四

十二條ノ規定ヲ準用ス

第十條　復興貯蓄債券ハ其ノ發行ニ依ル收入金二億圓ニ達シタルトキ又ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ之ヲ發行セス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ之ヲ略ス

○委員長子爵前田利定　散會ヲ命ス

散會　午前十一時四十四分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長　子爵　前田利定

貴族院議長公爵德川家達殿

復興貯蓄債券法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長　子爵　前田利定

貴族院議長公爵德川家達殿

委員長　子爵　前田利定　印

副委員長　男爵　阪谷芳郎　印

贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

大正十三年七月十四日

同會議

子爵　牧野忠篤
子爵　大河内正敏
子爵　伊東二郎丸
和田彦次郎
上山滿之進
男爵　東郷安
男爵　伊藤文吉
倉知鐵吉
市來乙彦
菅原通敬

樺山資英　片岡直輝　藤山雷太　今井五介　伊丹彌太郎

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十四日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　子爵　大河內正敏
副委員長　男爵　東郷安

會議

第一回　大正十三年七月十四日

○大正出席委員

委員長　子爵　大河內正敏　副委員長男爵　東郷安
委員　子爵　牧野忠篤　同　子爵　伊東二郎丸

同　和田彦次郎　同　上山滿之進
同　男爵　伊藤文吉　同　倉知鐵吉
同　菅原通敬　同　樺山資英
同　片岡直輝　同　藤山雷太
同　今井五介　同　伊丹彌太郎

出席委員外議員

伯爵　奥平昌恭　男爵　黑田長和

出席國務大臣

大藏大臣　濱口雄幸

出席政府委員

大藏省主稅局長　黑田英雄
大藏書記官　中島鐵平
大藏技師　矢部規矩治

開會　午前十時十一分

○委員長子爵大河内正敏　開會ヲ宣告ス

文部省普通學務局長　關屋龍吉
農商務省商務局長　松村眞一郎

（參照）

贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案

關税定率法別表輸入税表ニ掲クル物品ニシテ本法ノ別表ニ掲クルモノニハ當分ノ内同輸入税表ニ依ラス從價十割ノ輸入税ヲ課ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

輸入税表番號　品名

三一　蔬菜、果實及核子（二甲ノ四ヲ除ク）

三二　茶（紅茶粉ヲ除ク）

三三　マーテ其ノ他ノ茶代用物

三六　コーヒー（砂糖ヲ加ヘサルモノ）

四四　蜂蜜

四五　菓子

四六　ジャム、フルートゼリー類

四七　ビスケト（砂糖ヲ加ヘサルモノ）

四九　果汁及糖水

五四　チース

六〇　礦水、曹達水其ノ他砂糖又ハ酒精ヲ含マサル諸飲料

六二　支那酒（釀造シタルモノ）

六三　麥酒

六六　別號ニ掲ケタル酒類

六七　別號ニ掲ケタル飲食物

一　砂糖ヲ加ヘタルモノ（山羊及山羊革ヲ除ク）

六九　毛皮（兎毛皮竝鞣ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク）

七〇　毛皮製品（別號ニ掲ケサルモノ）

七二　革類

一　牛革、水牛革、馬革、綿羊革及山羊革

甲　塗リタルモノ

二　羚羊革（模造羚羊革ヲ含ム）

四　鰐魚革

五　リザードレザー

七三　革製品（別號ニ掲ケサルモノ）

三　其ノ他

甲　貴金屬貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

乙　其ノ他ノ内　羚羊革、模造羚羊革、鰐魚革及リザードレザーノ製品

七五　羽毛

一　粧飾用ノモノ

七七　羽毛製品及羽毛皮製品（別號ニ掲ケサルモノ）

八一　獸牙製品（別號ニ掲ケサルモノ）

八八　鼈甲製品（別號ニ掲ケサルモノ）

八九　珊瑚

九〇　珊瑚製品（別號ニ掲ケサルモノ）

九一　眞珠

九四　皮毛骨角齒牙甲殼類製品（別號ニ掲ケサルモノ）

九五　植物性揮發油

一　芳香性ノモノ

一一七　石鹼

一一八　薫香ヲ付シタル油、脂、蠟及其ノ製品

一一九　香水

一三四　麝香
一三五　人造麝香
一三六　甘松
一三七　丁香
一三八　沈香
一三九　白檀
二　其ノ他
二〇五　龍腦、艾片及人造龍腦
二一一　ヴアニリン、クマリン、ヘリオトロピン其ノ他別號ニ掲ケサル類似ノ薫香
二一二　齒磨粉、齒洗藥、化粧粉其ノ他別號ニ掲ケサル調製薫香類
二一三　線香
二二九ノ内　人造香料
二三四　煙火

二九一　別號ニ掲ケサル織絲
一　絹入、人造絹入又ハ金屬入ノモノ
二九九　亞麻、苧麻、ラミー、大麻又ハ黄麻ノ織物、其ノ交織物及此等ノ織維ト綿トノ交織物
五　平織布、紋織布及繡織布（別項ニ掲ケサルモノ）
丙ノ二　其ノ他ノ内
百平方メートルニ付四十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數三十ヲ超エタルモノ
六　其ノ他
乙ノ二　其ノ他ノ内
百平方メートルニ付四十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數三十ヲ超エタルモノ

三〇一　毛織物、毛綿交織物及毛又ハ毛綿ト絹トノ交織物

一　天鵞絨、ブラシユ其ノ他ノパイル織物（パイルヲ切リタルト否トヲ別タス）

二　其ノ他

丙　毛絹製ノモノ及毛綿絹製ノモノ

三〇三　絹織物及別號ニ掲ケサル絹入ノ織物

一　天鵞絨、ブラシユ其ノ他ノパイル織物（パイルヲ切リタルト否トヲ別タス）

三　其ノ他

三〇五　メリヤス地其ノ他類似ノ編ミタル布帛（起毛シタルト否トヲ別タス）

一　絹製又ハ絹入ノモノ

三〇六　レース地及網地

一　窓掛地

乙　其ノ他

三〇七　蚊帳地

乙　其ノ他

三　ヴエーリング

五　其ノ他

三〇八　甲　絹製又ハ絹入ノモノ

三一九　刺繍布

防水布（護謨ヲ塗リ又ハ挿入シタルモノ）

一　絹製又ハ絹入ノモノ

三二〇　護謨入布及護謨紐類

一　幅八センチメートルヲ超エタルモノ

甲　絹入ノモノ

二　其ノ他

甲　織リタルモノ

イ　絹入ノモノ

乙　其ノ他

イ　絹入ノモノ

三二四　手巾（單製ノモノ）

二　亞麻製ノモノ（五ミリメートル平方內ニ於ケル經緯ノ絲數三十ヲ超エタルモノ）

四　絹製又ハ絹入ノモノ

三二七　旅氈（單製ノモノ）

一　絹製又ハ絹入ノモノ

三二八　地氈（單製連製ヲ別タス）

一　毛製又ハ毛入ノモノ

三二九　テーブルクロース（單製ノモノ）

二ノ內　亞麻製ノモノ

四　絹製、絹入ノモノ、金屬絲ヲ用ヰタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三三〇　窗掛

二　絹製、絹入ノモノ、金屬絲ヲ用ヰタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三　其ノ他

甲　レース製ノモノ

三三三一　トリムミング

三三三五　エーアクション

三三三六　ペドクイルト及クション

三四三　別號ニ揭ケサル布帛製品

一　絹製、絹入及貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠珊瑚、象牙若ハ鼈甲ヲ加ヘタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三四四　雨衣

一　絹製又ハ絹入ノモノ

三四五　シャーツ、フロント、カラー及カフス

三四六　肌衣（上下ヲ別タス）

一　メリヤス製ノモノ

丙　絹製又ハ絹入ノモノ

二　其ノ他

甲　絹製又ハ絹入ノモノ

三四七　手袋

三四八　足袋（綿製、毛製又ハ毛綿製ノモノヲ除ク）

三四九　肩掛及襟卷

三五〇　襟飾

三五一　袴釣

三五二　衣服用ベルト

三五三　スリーヴサスペンダー及ストッキングサスペンダー類

三五四　帽子及帽體

一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、羽毛造花等ヲ用ヰタルモノ

二　其ノ他

甲　絹製又ハ絹入ノモノ

丙　バナマストロー其ノ他類似ノ植物纖維製ノモノ

丁　麥稈製、經木製又ハ其ノ混製ノモノ

三五五　靴其ノ他ノ履物（護謨製ノモノヲ除ク）

三五六　靴紐

三五九　身邊粧飾用細貨類

三六〇　別號ニ掲ケサル衣類、同附屬品及其ノ部分品

一　毛皮製、毛皮付、羽毛製、羽毛入、絹製、絹入及貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙若ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ又ハ刺繍シタルモノ

三七三　模造羊皮紙、バラフンイペーパー及ワクスペーパー

一　金屬ノ箔若ハ粉ヲ用ヰタルモノ、押形ヲ付シタルモノ又ハ捺染シタルモノ

三七八　別號ニ掲ケサル紙（四　乙ヲ除ク）

三七九　ペーパーレース及ペーパーボーダー
三八四　アルバム
三九〇　骨牌
三九一　寫眞
三九二　書畫
三九三　カードカレンダー及ブロクカレンダー
三九四　繪葉書
三九五　クリスマスカード類
四一二　貴石
四一三　半貴石及別號ニ掲ケサル半貴石製品
四一四　石及石製品
　二　其ノ他
　乙　其ノ他
四一五　琥珀及琥珀製品(別號ニ掲ケサルモノ)

四一七　メーアシウム、人造メーアシウム及同製品
四二四　石膏製品ノ内人物及同製品
四三九　別號ニ掲ケサル陶磁器(碍子ヲ除ク)
四五三　眼鏡
　一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ノ緣又ハ柄ヲ有スルモノ
四五四　硝子鏡
　一　貴金屬又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬ヲ用ヰタルモノ
四五七　別號ニ掲ケサル硝子製品(二　甲ヲ除ク)
四七五　鍍金銀シタル金屬
四八九　鏈(別號ニ掲ケサルモノ)
　一　貴金屬ヲ用ヰタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ
四九一　懷中時計用鏈、眼鏡用鏈其ノ他身邊粧飾用鏈
四九三　蝶鋏、ハットフック及戸、窗、家具等ニ用ヰル金具

一　貴金屬ヲ用ヰタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

四九四　鎖及鑰

一　貴金屬ヲ用ヰタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

四九九　刃物（別號ニ掲ケサルモノ）

一　貴金屬ヲ用ヰタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

二　其ノ他

甲　ポッケットナイフ

イ　柄ニ象牙、眞珠貝若ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ又ハ琺瑯ヲ施シタルモノ

乙　テーブルナイフ

イ　柄ニ象牙、眞珠貝若ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ又ハ琺瑯ヲ施シタルモノ

五〇〇　テーブルフォーク及スプーン

一　貴金屬ヲ用ヰタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

五二一　貴金屬製品及貴金屬ヲ用ヰ又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬製品（別號ニ掲ケサルモノ）

五二六　懷中時計

一　金側又ハ白金側ノモノ

五二七　懷中時計部分品

一　側（ウオッチグラスヲ附著シタルモノヲ含ム）

甲　金製又ハ白金製ノモノ

八　其ノ他

甲　金製又ハ白金製ノモノ

五二八ノ内　置時計

五三三　雙眼鏡及隻眼鏡（貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙、鼈甲又ハ貝殼ヲ用ヰタルモノ）

五五三　寫眞器（焦點距離十七センチメートル未滿ノレンズヲ取付ケタルモノ又ハ撮影スル感光面ノ長十六センチメートル未滿ノモノ若ハ幅十一センチメー

トル未滿ノモノ）

五五四　寫眞器部分品

一　レンズ（焦點距離十七センチメートル未滿ノモノ）

二ノ內　カメラ（撮影スル感光面ノ長十六センチメートル未滿ノモノ若ハ幅十一センチメートル未滿ノモノ）

五五五　蓄音器

五五六　蓄音器部分品及附屬品

五六〇　銃砲及同部分品

一　小銃

六一二　木材

一　單ニ切リ、挽キ又ハ割リタルモノ

甲　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）

二　其ノ他

丁ノ內　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀（縞黑檀ヲ除ク）

六二四　傘柄、杖、鞭及其ノ手

六二五　傘

一　絹製又ハ絹入ノモノ

六二六　木製品（別號ニ掲ケサルモノ）

一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

二　其ノ他

六二四　ブラッシュ及箒

一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

甲　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀ノ製品

六三六　寫眞用フイルム（活動寫眞用ノモノヲ除ク）

六三八　造花（模造ノ葉、果實等ヲ含ム）同部分品

六三九　化粧具匣

六四〇ノ內　ビリヤード、クリッケット、象棋其ノ他ノ遊戲具及同附屬品（テニス具、野

六四一　球具、フットボール具、及同附屬品ヲ除ク）

六四七　甍具

別號ニ揭ゲサル物品

二　其ノ他

一　甲　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ玆ニ之ヲ略ス以下倣之

○委員長子爵大河內正敏　休憩ヲ命ス

休憩　午後零時十二分

開會　午後一時十九分

○委員長子爵大河內正敏　開會ヲ宣告ス

○委員長子爵大河內正敏　散會ヲ命ス

散會　午後三時三十八分

第二回　大正十三年七月十六日

出席委員

委員長　子爵　大河內正敏　副委員長男爵　東郷安

委員　子爵　牧野忠篤　同　子爵　伊東二郎丸

同　和田彦次郎　同　上山滿之進

同　倉知鐵吉　同　市來乙彦

同　菅原通敬　同　樺山資英

同　片岡直輝　同　藤山雷太

同　今井五介　同　伊丹彌太郎

出席國務大臣　大藏大臣　濱口雄幸

出席政府委員　大藏省主稅局長　黑田英雄

大藏書記官　中島鐵平

大藏技師　矢部規矩治

開會　午前十時二十二分

○委員長子爵大河內正敏　開會ヲ宣告ス

○委員長子爵大河內正敏　散會ヲ命ス

散會　午前十一時四十九分

第三回　大正十三年七月十七日

出席委員

委員長　子爵　大河內正敏　副委員長男爵　東郷安

委員　子爵　牧野忠篤　同　伊東二郎丸

同　和田彦次郎　同　上山滿之進

同　男爵　伊藤文吉　同　倉知鐵吉

同　市來乙彦　同　菅原通敬

同　樺山資英　同　片岡直輝

同　藤山雷太　同　今井五介

農商務省工務局長　男爵　四條隆英

同　伊丹彌太郎

出席國務大臣

大藏大臣　濱口雄幸

出席政府委員

大藏省主稅局長　黑田英雄

大藏書記官　中島鐵平

大藏技師　矢部規矩治

開會　午前十時十七分

○委員長子爵大河內正敏　開會ヲ宣告ス

○委員長子爵大河內正敏　散會ヲ命ス

散會　午前十時四十七分

（附記）　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

贅澤品等ノ輸入稅ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十七日

右特別委員長

子爵　大河内正敏

委員長　子爵　大河内正敏　印

副委員長　男爵　東郷安　印

貴族院議長公爵德川家達殿

借地借家臨時處理法案特別委員會

借地借家調停法中改正法律案特別委員會

（附記）右各特別委員會會議錄ハ便宜之ヲ一括ス

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ借地借家臨時處理法案、借地借家調停法中改正法律案特別委員ヲ選定スルコト左ノ如シ

伯爵　寺島誠一郎

子爵　勘解由小路資承

子爵　秋月種英

子爵　池田政時

河村讓三郎

土方寧

男爵　毛利五郎

男爵　若王子文健

男爵　二條正麿
加太邦憲
阪本彭之助
松本烝治
伊澤多喜男
馬場鍈一
橋本辰二郎

委員長及副委員長選擧

○大正十三年七月十五日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長　子爵　秋月種英
副委員長　河村讓三郎

第一回　大正十三年七月十五日委員會

出席委員

委員長　子爵　秋月種英　副委員長　河村讓三郎
委員　伯爵　寺島誠一郎　同　子爵　勘解由小路資承
同　子爵　池田政時　同　土方寧
同　男爵　毛利五郎　同　男爵　若王子文健
同　男爵　二條正麿　同　加太邦憲
同　阪本彭之助　同　松本烝治
同　伊澤多喜男　同　馬場鍈一
同　橋本辰二郎

出席國務大臣　司法大臣　横田千之助

出席政府委員
司法次官　林賴三郎
司法省民事局長　池田寅二郎
司法省參事官　長島毅

開會　午前十時二十六分

○委員長子爵秋月種英　開會ヲ宣告ス

（參照）

借地借家臨時處理法案

借地借家臨時處理法

第一條　本法ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ

第二條　地代、家賃、敷金其ノ他借地借家ノ條件カ著シク不當ナルトキハ當事者ノ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ借地借家關係ヲ衡平ナラシムル爲其ノ條件ノ變更ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ敷金其ノ他ノ財產上ノ給付ノ返還ヲ命シ又ハ其ノ給付ヲ地代若ハ家賃ノ前拂ト看做シ其ノ他相當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第三條　大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ノ借主ハ其ノ建物ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ新ニ築造セラレタル建物ニ付其ノ完成前賃借ノ申出ヲ爲シタルトキハ他ノ者ニ優先シテ之ヲ賃借スルコトヲ得滅失シタル建物ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ築造セラレタル假設建築物ノ借主亦同シ

前項ノ申出ヲ受ケタル者申出ヲ受ケタル日ヨリ二週間內ニ拒絕ノ意思ヲ表示セサルトキハ申出ヲ承諾シタルモノト看做ス

第一項ノ申出ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒絕スルコトヲ得ス

第四條　前條ノ場合ニ於テ借家ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ從前ノ賃貸借ノ條件、建物ノ狀況其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ借家關係ヲ定ムルコトヲ得

第五條　新ニ築造セラレタル建物ニ付第三條第一項ノ規定ニ依リ賃借ノ申出ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ賃借スヘキ建物ノ割當ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ從前ノ建物又ハ假設建築物ノ狀況、借主ノ職業其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ其ノ割當ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ裁判所ハ抽籤ノ方法ヲ用ヰテ割當ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ當事者間ノ衡平ヲ維持スル爲必要アリト認ムルトキハ割當ヲ受ケサル借主又ハ著シク不利益ナル割當ヲ受ケタル借主ノ爲割當ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル他ノ借主ニ對シ相當ナル出捐ヲ命スルコトヲ得

第六條　大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ニ居住シタル者カ其ノ建物ノ敷地ノ上ニ假設建築物ヲ築造シタル場合ニ於テ敷地ノ借主カ之ニ同意シタルトキハ其ノ同意ニ付地主ノ承諾ヲ得サリシ場合ト雖地主ハ之ヲ理由トシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス但シ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條　借地ノ上ニ存スル借地人ノ建物カ大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ借地權ハ借地權ノ登記及其ノ土地ノ上ニ存スル建物ノ登記ナキモ之ヲ以テ大正十三年七月一日以後其ノ土地ニ付權利ヲ取得シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八條　第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ因ル裁判ハ借地又ハ借家ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第九條　鑑定委員會ハ五人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條　鑑定委員ハ特別ノ知識經驗アル者其ノ他適當ナル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付裁判所之ヲ指定ス

第十一條　鑑定委員會ノ決議ハ委員ノ過半數ノ意見ニ依ル

第十二條　鑑定委員會ノ評議ハ祕密トス

第十三條　鑑定委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條　借地借家調停法第四條ノ二及第五條ノ規定ハ第二條、第四條及第五條ノ規定ニ依ル申立並第六條ノ規定ニ依ル許可ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ調停ニ付スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十五條　第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ卽時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十六條　本法ニ依ル裁判ニシテ財產上ノ給付ヲ命スルモノハ執行力ヲ有スル債務名義タルノ效力ヲ有ス

第十七條　本法ニ依ル裁判ノ費用ニ付テハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ大正十八年四月三十日迄其ノ效力ヲ有ス

本法失效ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

借地借家調停法中改正法律案

借地借家調停法中左ノ通改正ス

第四條ノ二　借地借家關係ノ爭議ニ付訴訟カ繫屬スルトキハ受訴裁判所ハ職權ヲ以テ事件ヲ調停ニ付スルコトヲ得

第五條　調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ事件カ調停ニ付セラレタルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

第三十二條　調停委員會ノ呼出ヲ受ケタル當事者カ正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五十圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（附記）本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ之ヲ略ス

○委員長子爵秋月種英　休憩ヲ命ス

休憩　午後零時四分

開會　午後一時十六分

○委員長子爵秋月種英　開會ヲ宣告ス

○委員長子爵秋月種英　散會ヲ命ス

散會　午後一時五十七分

（附記）同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

借地借家臨時處理法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

子爵　秋月種英

貴族院議長公爵德川家達殿

借地借家調停法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

子爵　秋月種英

委員長　子爵　秋月種英　印

副委員長　河村讓三郎　印

大正十一年度第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

大正十二年度第二豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

自大正十二年四月至同年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

自大正十二年四月至同年十一月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）

右七件特別委員會

委員選擧

○大正十三年七月十三日議長ノ指名ヲ以テ大正十一年度第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）大正十二年度第二豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）自大正十二年四月至同年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）自大正十二年四月至大正十三年十一月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）特別委員ヲ選定

スルコト左ノ如シ

委員選擧

○大正十三年七月十五日委員長及副委員長ヲ互選ス其ノ結果左ノ如シ

委員長	山脇　玄	副委員長	鈴木摠兵衛

會議

第一回　大正十三年七月十五日

出席委員

委員長	山脇　玄	副委員長	鈴木摠兵衛
委員	侯爵　大隈信常	同	伯爵　小笠原長幹
同	子爵　片桐貞央	同	男爵　村上敬次郎
同	男爵　藤田平太郎	同	中村圓一郎

出席政府委員

朝鮮總督府財務局長	和田一郎	
臺灣總督府財務局長	阿部濤	
內務省都市計畫局長	堀切善次郎	
復興局部長	十河信二	
大藏書記官	河田烈	
大藏書記官	佐野正次	

開會　午前十時三十九分

○委員長山脇玄　開會ヲ宣告ス

（附記一）　議案浩瀚ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

（附記二）　本委員會議事ハ速記錄ニ詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

○委員長山脇玄　散會ヲ命ス

散會　午前十一時十二分

（附記）　同日議長ニ提出シタル委員長ノ報告左ノ如シ

大正十一年度第一豫備金支出ノ件

大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十二年度第二豫備金支出ノ件

自大正十二年四月至同年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件

自大正十二年四月至同年十一月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

專賣局長官　今北策之助

臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長　山脇玄

貴族院議長公爵德川家達殿

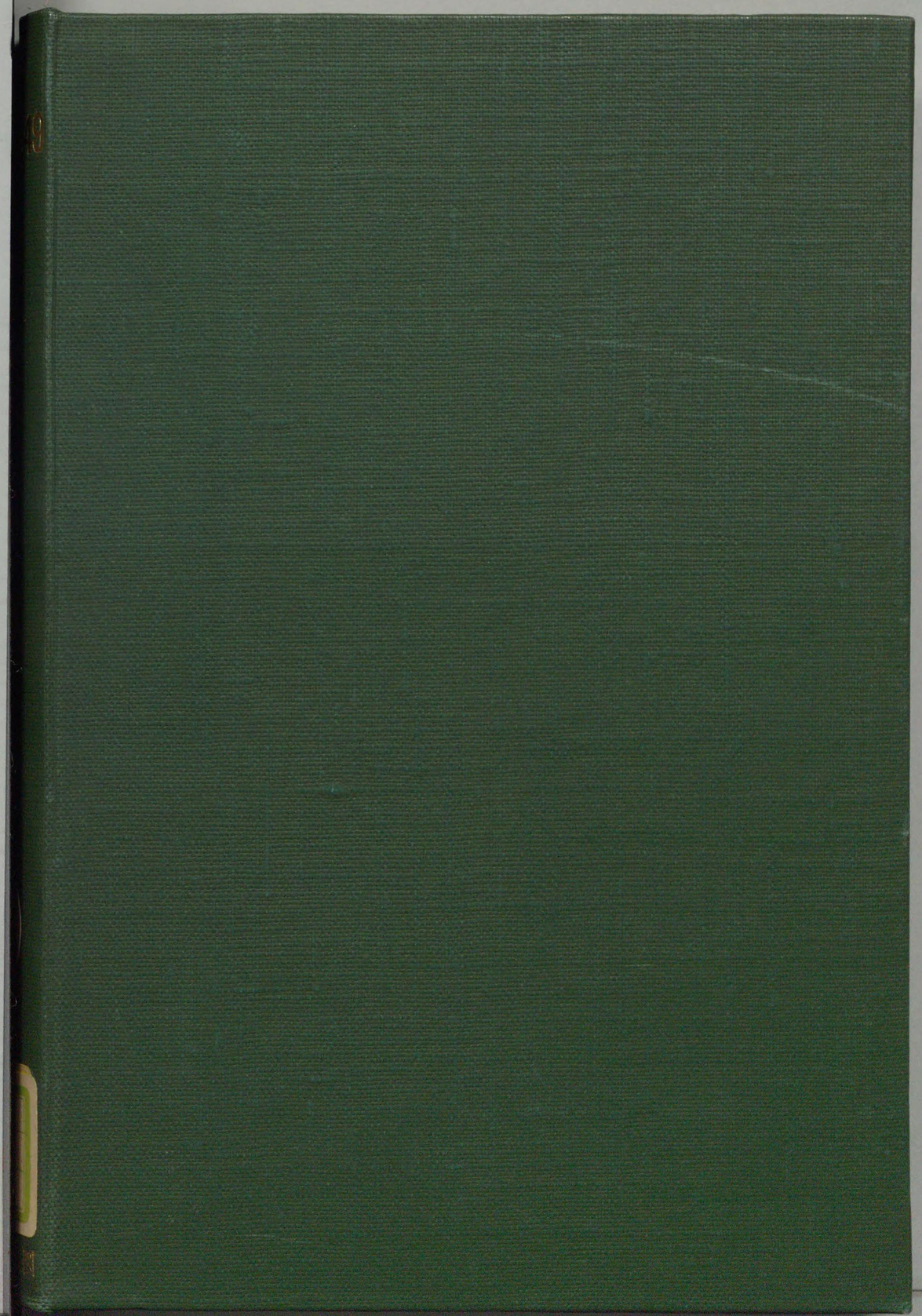
委員長　山脇玄印

副委員長　鈴木摠兵衛印

大正十四年二月十日印刷
大正十四年二月十三日發行

貴族院事務局

印刷者　中村彌三郎
東京市麹町區內幸町一丁目四番地

印刷所　三生舍
東京市麹町區內幸町一丁目四番地

9A147